

南区 辻小学校 教諭 山田 大童

1 はじめに

本校は、平成23・24年度、さいたま市教育委員会による「『読み・書き・そろばん』基礎学力向上」の委嘱を受け、国語科の「書く」に特化して研究を進めてきた。児童の実態を踏まえつつ、学校教育目標の実現を目指して、研究主題「確かな学力を身に付け、わかる喜びを味わえる子どもの育成」を設定し、指導法の工夫・改善と家庭・地域との連携を図ることでその具現化を目指してきた。

2 研究の概要

【研究の柱1】表現する楽しさや理解する喜びを感じさせることによって、意欲的に学習できるようにする

手だて

- ①「書く」活動の工夫
- ②「読む」活動の工夫
- ③読書指導の充実

【研究の柱2】家庭・地域と連携し、望ましい生活・学習習慣を確立することによって、意欲的に学習できるようにする

手だて

- ④生活・学習習慣の確立
- ⑤家庭・地域との連携

本稿では、①と④の一端について述べる。

3 具現化を目指した取組

「書く」活動の工夫

(1) キラリ言葉の掲示

学年の実態に応じた「書く」活動（3行日記や川柳等）を行うとともに、書かれた文章の中にあるよい表

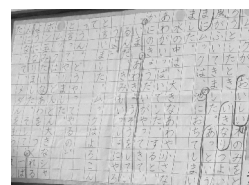


キラリ言葉の掲示

現を「キラリ言葉」と命名し、掲示することで意欲付けを行うとともに、よい表現を広める機会づくりを行った。

(2) モデル学習

「書く」学習の時には教師が児童の実態に合わせてモデル文を作成し、習得の時間、活

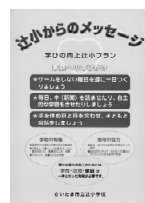


モデル文

用の時間を明確にしたモデル学習を実施した。

生活・学習習慣の確立

(1) 辻小からのメッセージ

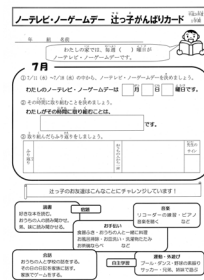


辻小からのメッセージ（表紙）

生活・学習習慣に関するアンケートを実施し、児童の実態と課題について広く周知してもらうためにパンフレットを作成・配付し、その内容について懇談会等で協議を行った。

(2) ノーテレビ・ノーゲームデー「辻っ子がんばりカード」

「ノーテレビ・ノーゲームデー」に多くの家庭で取り組んでもらえるように、「辻っ子がんばりカード」を作成し、毎月配布し取り組んだ。



辻っ子がんばりカード（表）

4 おわりに

様々な取組を通して、語彙力の高まりとともに、意欲的に学習する児童が多く見られるようになった。また、「辻っ子がんばりカード」の実施により、児童・保護者の意識を高め、生活・学習習慣を改善することができた。

今後も、「わかる喜びを味わえる子ども」の育成を目指して、取り組んでいきたい。